

港区立筈小学校  
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助詞の使い分けが不十分である。(低学年)</li> <li>・文が長くなると、順序を追って正しく読み取ることが難しい。(低学年)</li> <li>・漢字を正しく書くことが不十分である。</li> <li>・話すこと・聞くことに関する問題の正答率が低い。(高学年)</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「観察・資料活用の技能」の力が高まりが十分でない。</li> <li>・資料から読み取ったことをもとに考え、表現することが苦手。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時計の読み方に慣れていない。(低学年)</li> <li>・文章題の意味を正しく理解できず、立式や図式化できない。式の意味を場面と結びつけて説明できない。</li> <li>・図形の方向や位置に関する言葉を理解していない。(低学年) 問題場面を把握したり、図形の特徴を理解したりする知識や技能が十分でない。</li> <li>・単位ミス無くす。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「科学的な思考・表現」が低い。(中学年)</li> <li>・「自然事象への関心・意欲・態度」「自然事象についての知識・理解」が、目標値との開きが大きい(高学年)</li> <li>・問題の正確に読み取りに課題がある。(高学年)</li> </ul>

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話すこと・聞くこと</li> <li>・書くこと</li> <li>・語彙を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説明や友達の発言などを正確に聞き取り、理解できるように指示を短く分かりやすくし、集中して聞く環境を作る。また、学校生活を通して、状況に応じた話し方や敬語の使い方を身に付けさせる。</li> <li>・日記等、日常的に書く活動を取り入れ、助詞の使い方や段落の書き方を身に付けさせる。文の中で漢字を正確に書けるように丁寧に指導する。</li> <li>・言葉遊びや詩の暗唱などを多く取り入れる。本に親しみ、進んで読書ができるように校内外の図書館と連携する。</li> </ul>

社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の様子について、調べたり、まとめたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方位や地図記号の基礎的な習得を目指す。</li> </ul>
----	---	--

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時計の読み方に慣れる。</li> <li>・文章題の意味を正しく理解する。</li> <li>・図形に関する知識・技能を身に付ける。</li> <li>・単位ミス等の凡ミスを無くす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中で、時計を読む場面を多く取り入れていく。</li> <li>・文章題では、着目する言葉について考えさせる。問われていることを正確に理解できるように、国語の力も付けていく。立式したり図式化をしたりする練習を行う。</li> <li>・既習事項を確認しながら、丁寧に学習を行う。ICTを活用しイメージを掴み易くする。繰り返し作図を指導する。</li> <li>・ミスの理由を書きとめる習慣をつける。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本を身に付け、応用する能力を養う。</li> <li>・自然自象への関心・意欲・態度を高める指導の工夫を行う。</li> <li>・課題に合わせて実験を計画し、実験を行い、まとめる力をつけさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察やまとめを行う時の観点を提示する。</li> <li>・応用した課題も提示しながら考えさせる。</li> <li>・自然環境とかかわる機会は少ないが、学校の花壇や身近な事物から、関心を高められるようにしていく。</li> <li>・課題に対して自ら実験を計画・実行・まとめを行うことで、より正確に結果を示す工夫などを考える機会を増やす。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を通し、主体的にかかわる力を育成する。</li> <li>・活動の中から、気づきを表現できるようにする。</li> <li>・地域に愛着をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜を育てる中で、観察する視点を明確にししながら野菜の育て方やそばで見つけた昆虫など、意識して声替えをし、気付かせる。</li> <li>・気づいたことや調べたこと発表する場を設定するなど、目的意識を持たせる。その際、保護者や異学年、保育園児童との交流を取り入れるようにする。</li> <li>・住んでいる街について愛着がわくように、町探検に関連させよく行く場所や見つけたものを意識させる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</li> <li>・表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。</li> <li>・音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の基礎となる音楽の知識を積み重ねると共に、興味をもって繰り返し練習できるような魅力ある教材選択を工夫する。</li> <li>・「聴くことから感じ取る学習」を多く取り入れ、気づきや思い等を伝え合い共感するなどして、音や音楽、言葉によるコミュニケーションを図る。</li> <li>・ペアやグループ、学級や学年で協力して音楽をつくる楽しさを体験できる場を設定する。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的につくったり表したりできるようにする。</li> <li>・作品などに対する自分の見方や感じ方を深める。</li> <li>・楽しく豊かな生活を創ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い表し方を工夫させる。</li> <li>・感じた事や思った事を話し合ったり伝え合ったりして造形的なよさを発見させる。</li> <li>・身近な環境や生活の中で造形活動の楽しさを体験できるようにする。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい生活をするための工夫や実践的な活動をする力</li> <li>・政策や実習を通して技能を身に付け、生活に役立てる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫や調理などの実習に加え、それに向けた準備の際には、活動の意義やきまりを守ることの必要性について考える時間を設ける。</li> <li>・ペアやグループで協力して調理や作品作りを行い、片付けまでしっかりと作業をさせる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで取組み、運動することの楽しさを味わう</li> <li>・友達と協力して、よりよくゲームを行おうとする</li> <li>・自己の動きや取組みを振り返る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてをわかりやすく示し説明をコンパクト資すること、運動量を確保させる。</li> <li>・技能のポイントを明確にし、スモールステップで達成する喜びや楽しさを味わわせる。</li> <li>・ペアやグループで友達と取り組ませることで協力を促す環境を作る。その際アドバイスの視点を示す。</li> <li>・ICT 機器の使用で、自分の動きを可視化し、振り返らせる。学習カードで自己評価をさせる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した英語を活用してコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さに気付く。(低)</li> <li>・言語活動を通して、自ら英語を活用しようとする。(高)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語や会話に慣れ親しみ、言語活動を通して楽しみながら身に付けさせる。</li> <li>・NT と連携を図り、ペア活動を重視しながら、たくさん発話し単語や会話を身に付けさせる。</li> <li>・発達段階に応じた教材やワークシートを工夫する。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己を見つめ、これからの生き方について考える力</li> <li>・自分の考えをしっかりともつ</li> <li>・相手の話を考えながら聞く</li> <li>・交流を通して自分の考えを深めたり、広めたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自分事として課題を捉え考えることができるよう、教材理解、児童理解を深めていく。</li> <li>・主体的に考えたり話し合ったりする場面を意図的に設定すると同時に、ねらいにせまった発問構成を考えていく。</li> <li>・教材の読み取りに終始することなく、これまでの自分やこれからの自分を振り返る時間を設ける。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、課題をを解決するために話し合い、合意形成を図り実践していく力</li> </ul>	<p>互いのよさや可能性を發揮しながら集団や事故の生活上の課題を解決することができるよう、学級会を定期的に関っていく。その中で、集団での合意形成の仕方を学ぶことができるようにする。また、各教科や教育活動を通して、互いの良さを認め合ったり發揮し合ったりできるよう、交流の場面を設定していく。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題を設定し、情報を集めてまとめる力。</li> <li>自分のまとめたことを友達へより良く伝える力。</li> <li>問題解決のための調べ方を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱根移動教室を通して、自ら関心のある課題を設定し、グループで情報を集め学習できる場をつくる。</li> <li>タブレットなどのICTを活用して、必要な情報を収集し、調べたことをまとめられるような場や教材を準備する。</li> <li>学習してきた内容を、それぞれがまとめ、学年内や下学年へ発表する場を設ける。</li> <li>本やインターネット、インタビューの仕方について活動を通して身に付けさせる。</li> <li>調べ学習の方法を練習していく。</li> </ul>